

海外安全対策情報

【2017年1月～3月分】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、各種犯罪は日常的に発生しており、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、飲酒や交通マナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報道されています。さらに、最近、電話や携帯メールなどを使用した電信詐欺が社会問題化するなど、中国の詐欺は多様化しており、その手口も巧妙になっています。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 強盗（済寧市）

1月14日、男性が済寧市内のATMで現金を下ろし車両に乗り込むところ、被疑者（4名）に誘拐された。被疑者らは殴打、スタンガンで脅迫するなどし、銀行暗証番号を聞き出し7万円を引き下ろした。男性は隙を見て逃走。16日、警察は被疑者らを検挙した。

(2) 傷害（即墨市）

2月9日午前0時頃、駐在ドイツ人エンジニアが、即墨市の電器市場付近所在のバーで、中国人客数名から言いがかりを受け、殴打されるなどの暴行を受け負傷した。地元検察院は、本件事案は外資誘致に影響を及ぼす重要案件と位置づけ、近日、関係者4名の逮捕状を発付した。

(3) 屋内盗（青島市、済南市、威海市、濰坊市）

海外安全対策情報

2月14日夜、青島市李滄区所在の家屋で、現金2.5万元と時価4万元のネックレスが窃取される事案が発生。警察は21日と24日に被疑者2名を検挙した。被疑者らは昨年5月以降、済南市、威海市、濰坊市、天津市、遼寧省鞍山市などでも余罪30件余り（被害総額50万元以上）を敢行している。

(4) 乗り物盗（膠州市、泰安市、青島市）

2月、膠州市内（中雲街道）で電動バイクの連続窃盗事案が発生。15日、警察は被疑者男性を検挙した。被疑者は、2月以降、膠州市、泰安市及び青島市などで計7件を敢行している。

(5) 車上ねらい（即墨市）

2月21日、即墨市（大信鎮）で、車両5台のガラスが割られ車内が荒らされる事案が発生。警察は27日に被疑者を検挙した。被疑者は即墨市内で20件余り（被害総額7,000元以上）の車上ねらいを敢行している。

(6) 部品盗（青島市）

2月3日、青島市李滄区で、高級車のサイドミラーが連続窃取される事案が発生。被疑者は警戒中の警察官に検挙されたが、手提げ袋に窃取したサイドミラー6個（時価約2万元）を所持していた。

(7) ひったくり（青島市）

2月12日と13日、青島市李滄区李村の繁華街において、携帯電話を狙った連続6件のひったくり事案が発生。13日、警察は被疑者男性を検挙した。

(8) その他窃盗（青島市、即墨市）

- ・ 2月11日午前11時頃、青島市内の病院で、男性が看護師に対し「携帯電話を紛失した。」と騙し、携帯電話（iPhone）を借用後、隙を見て持ち逃げした。
- ・ 2月18日、青島市居住の女性が、微信で知り合い男性の甘い言葉に騙され、即墨市内のホテルで共に就寝中、携帯電話の微信を悪用されクレジットカードの現金8,000元を窃取された。

(9) 人身売買未遂（臨沂市）

1月12日、男性が臨沂市内で、我が子（生後4ヶ月）を他人に販売するところを、通報を受けた警察に検挙された。男性はインターネットで幼児売買取引のサイトを発見。生活苦解消と妻への車両購入のため、価格8万元で買主に引き渡すところだった。

(10) 臓器売買（済南市、泰安市、肥城市）

済南歴下法院は、複数省で広域組織された臓器売買事案の被告16名に第一審有罪判決を下した。被告には仲介・手配役のほか、済南市所在の医師、麻酔士及び看護婦も含まれており、済南市、泰安市、肥城市に準備された闇手術室で腎臓移植手術を実施。被移植者の費用は40~60万元、ドナーには4万元支払い違法利益を得た。

(11) 電信詐欺（青島市、煙台市、濰坊市、日照市、臨沂市）

- ・ 1月7日、警察は、臨沂市で、フッシング詐欺容疑の被疑者2名を検挙した。被疑者らは昨年11月以降、銀行や携帯電話会社を装い、ポイントによる商品交換を名目にショートメールを発出し、フッシングサイトに誘導して金銭を詐取した。被

海外安全対策情報

害者は、青島、煙台、濰坊、日照、臨沂と広域に及び、被害事案 100 件以上、被害総額 40 万元以上にのぼる。

- ・ 青島市公安局は 2 月 6 日以降、10 件以上の同種電信詐欺事案の通報を受理。手口は、被害者は電話帳の友人から「あなたのために録画した画像（撮影した写真）を送付するのでリンク先に接続してください。」とのショートメッセージを受信。指定リンク先に接続すると、“トロイの木馬”に感染し、携帯電話保管の個人情報を詐取され、支付宝などから現金を詐取されるもの。
- ・ 3 月 12 日、済南市居住の男性は、インターネット販売サイト業者を語る者から、「あなたが購入した服に問題があることが判明した。購入代金を返還するが、事前に消費者金融アプリからお金を借りて欲しい。後日、借りたお金と服の購入代金を一括して返済する。」との電話を受け、指示に従いお金を借りた。その後、業者から送金にあたり送付する QR コードをスキャンするよう誘導され実行したところ、支付宝に入金された借りたお金（約 8 万元）を窃取された。

(12) 覚醒剤取締法違反（済南市、荷澤市）

2 月、済南市公安局は、山東省と河南省における広域薬物密造販売事案に関し、被疑者 10 名を検挙し、済南市、荷澤市、河南省濮陽市の製造拠点を摘発するとともに、覚醒剤 18 kg と原料 200 kg を押収した。

(13) 賭博開帳図利（膠州市）

3 月 15 日、膠州市市蘭州東路所在の多くのスーパー店舗内で、スロットマシンを設置し賭博行為を行っていたとして、警察は現場を差押え、関係者を検挙した。

(14) 交通事故（青島市）

- ・ 2 月 5 日午前 10 時 30 分頃、青島市市北区（遼寧路と道口路の交差点）で、路線バスと自家用車の衝突事故が発生。乗客 10 数名が負傷し病院へ搬送された。
- ・ 2 月 5 日午前 6 時頃、青島市黄島区（省道 334 号）で、三輪自動車と歩行者の死亡事故が発生。三輪自動車は逃走を図るも、12 日、警察に検挙された。
- ・ 3 月 29 日早朝、泰新高速で濃霧が発生し、連続 5 件の交通事故が発生。車両 22 台が巻き込まれ、2 名が死亡、10 名が負傷した。

(15) 交通トラブル（青島市）

2 月 19 日、青島市内で、滴滴（配車アプリ）で車両を呼んだ男性客が、車内に財布を置き忘れ、運転手に返却を求めたところ、返却手間賃 300 元を不当請求された。男性客は通報するも解決には至らず、結局、手間賃を支払い財布の返却を受けた。

(16) 車両火災（青島市）

2 月 28 日午前 10 時 20 分頃、青島市嶗山区において大型バスの車両火災が発生。車両は全焼するも、乗客 43 名は直ちに避難し怪我人は出なかった。

4. 治安対策等報道

(1) 2016 年山東省一般犯罪情勢（山東省）

海外安全対策情報

2016年、山東省の治安情勢は改善傾向を維持。刑事事案総数は前年比12.68減、8類暴力犯罪（殺人、故意傷害、強盗、強姦、放火、薬物売買、爆破、薬物混入）は前年比11.18%減、2類窃盗犯罪（強盗、ひったくり）は前年比29.24減。殺人事件検挙率は99.3%で、省内12都市で全件検挙。

（2）2016年電信詐欺犯罪発生情勢（山東省）

2016年に摘発した電信詐欺事案総数は4,527件で前年比474%増、逮捕被疑者は1,982人で前年比247%増であった。電信詐欺は、「ネット購入に起因するもの」が17.3%、「ネット副業（主に、架空購入・不正レビュー等の手口で販売量やショップの信用を高める仕事）に起因するもの」が15.5%、「公安・検察・法院のなりすましに起因するもの」が18.7%と、この三種類が突出している。

（3）2017年春節期間中の治安情勢（青島市）

2月15日、青島全市公安局は、春節期間中の治安維持を目的に警察官7,000名を導入し、犯罪一掃作戦を展開。窃盗犯2名、詐欺犯1名、薬物犯6名、賭博犯17名、色情犯8名、飲酒薬物使用運転犯10名など50数名を検挙した。

春節期間中、青島市の刑事事案は前年比-23.5%、交通事故発生数と負傷者数は前年比それぞれ-2.9%、-3.6%、火災は前年比-84.6%で、火災と交通事故による死亡者は未発生であった。また、重大刑事事案、花火・爆竹による事故、社会不安となる事案の発生も無く、春節期間中、安全な社会環境を維持した。

（4）情人節における飲酒取締り（青島市）

2月14日夜、青島市公安局交警部門は、青島市内で夜間集中飲酒検問を実施し、計82名（酒酔い運転18名、酒気帯び運転64名）を検挙した。

（5）空港周辺の違法タクシー取締り（青島市）

流亭空港周辺区域管理事務所（昨年8月設立）は、24時間体制で違法タクシーの取締りを実施しており、2017年以降（2月末）まで、客引き484名を取り締まった。同事務所は、旅行者に対し、地下の正規タクシー乗り場或いは空港バスへの乗車を呼びかけている。

（6）済南市の違法駐車対策（済南市）

済南市は1月1日、《路上駐車管理の強化に関する通告》を施行し、駐車管理員がPDA（携帯情報端末）を使用した違法駐車切符の貼付と写真撮影による証拠保全を行い、交警部門に通報する新たな取締システムを開始し違法駐車取締りを強化した。済南市では2016年（1月～11月）、「政務サービスホットライン」と「110番通報センター」が受理した駐車苦情は4.8万件で交通関連問題の約40%を占めている。同市の車両保有台数は2016年10月末時点、179.2万台である一方、駐車場は50万台分余りと、路上駐車が交通機能を麻痺させる大きな要因となっている。

（了）